



令和3年度

女性・高齢者チャレンジ活動表彰事業
事例集

令和4年（2022年）3月
北海道農政部

目 次

令和3年度 女性・高齢者チャレンジ活動表彰受賞者一覧 1

最優秀賞

はこだてしかめだじよせいぶ
JA函館市亀田女性部（函館市） 2

優秀賞

とうかいりん さちえ
東海林 幸恵（札幌市） 6

<参 考>

実施要領 9

審査会議出席者（有識者）名簿 12

これまでの受賞団体一覧 13

令和3年度女性・高齢者チャレンジ活動表彰受賞者一覧

区 分	総合振興局及び振興局	市町村	グループ又は個人名	構成員数	活動の種類	活動の概要
最優秀賞	渡島	函館市	はこだてし JA函館市 かめだ しよせいぶ 亀田女性部	55名	経営参画	函館市の新しい特産品を目指しサツマイモを使った商品開発に挑戦。 サツマイモの栽培から加工までをJA函館市亀田青年部や地元の農業改良普及センター、農業試験場、工業技術センターと連携しながら女性部員が一貫して行い、販売は渡島総合振興局等の支援を受けて販路を確保している。2019年にはサツマイモペーストを函館市内の菓子業者に販売し、函館産サツマイモを原料とした菓子の通年販売につながったほか、2021年に「函館育ち。ほっ、とおいしいほしいも」の販売を開始するなど、函館産農産物の知名度向上に貢献した。
優 秀 賞	石狩	札幌市	とうかいりん 東海林 きちえ 幸恵	個人	地域社会参画	野菜栽培等の農業経営と並行して、養護施設の子どもたちや、小学生を対象とした通年の農業体験プログラム「農業体験ばるきっず」を開催し、現在延べ人数1200名を超える子どもたちが参加するなど、食育や農業、農村への理解を推進する取組を継続している。 また、農業体験を開催する中で、地域の高齢の農業者や女性農業者がスタッフとして従事し、子どもたちとの交流を含め地域の活性化に貢献した。

最優秀賞

団体名	じえいはいほこだてし かめだ じよせいぶ J A函館市亀田女性部	活動開始時期	昭和36年 (1961年)
活動の種類	経営参画	構成員数	55名
市町村名	函館市	年間活動回数	およそ50回

1 活動の経過

○新規加工品づくりへの第一歩

平成28年から女性部員数名が直売所の目玉商品として、サツマイモ栽培を開始し、翌年からはJ A函館市亀田青年部（以下、青年部）と共に栽培試験圃場を通じて技術を習得した。平成30年にはサツマイモの先進地である茨城県への視察研修での経験を生かし、「地元消費者に函館産サツマイモの美味しさを伝えたい」と干しいもやペースト加工の試作を開始した。亀田の定番商品である赤かぶ漬けと手づくり味噌に加えて、25年ぶりにJ A函館市亀田女性部（以下、女性部）の「亀田といえばこれ！」と言われる商品の開発に踏み出した。

○女性部の加工活動の歩み

平成元～3年：赤かぶ漬けの試作品づくり

平成3～5年：加工室建設の検討から建設完了

平成6年：赤かぶ漬けと手づくり麴を使用した味噌の販売を開始

令和元年：市内菓子業者へサツマイモペースト販売を開始

令和2年：乾燥機導入により干しいも販売開始

2 組織体制

J A函館市亀田女性部（55名）

- ・部長 1名
- ・副部長 2名
- ・監事 2名
(うち1名：個別での加工販売実践者)
- ・相談役 1名
- ・ひまわり会会長 1名
(若手女性部員の会長)
- ・ひまわり会副会長 1名



〈J A函館市亀田女性部の皆様〉

3 活動の概要

○栽培管理技術の習得

道総研農業研究本部道南農業試験場の協力により、女性部員が青年部と共に講習会や試験ほの設置を通じて栽培を開始し、サツマイモの生産費で最も高い割合を占める種苗費の低減を目指して苗増殖の取組みも行った。その結果、35%以上の種苗費の低

減と目標採苗数を達成した。

○栽培戸数の増加

女性部員の積極的な声かけにより、サツマイモ栽培に興味をもつ組合員が増え、栽培戸数が初年度の4戸から3倍以上の14戸となった。(図1)

○函館産サツマイモのPR

函館産サツマイモの良さを知ってもらうために北海道渡島総合振興局が開催する各種商談会に参加し、実需者から加工試作品の高評価を得た。

○新規加工品（サツマイモペースト、干しいも）づくりの取組

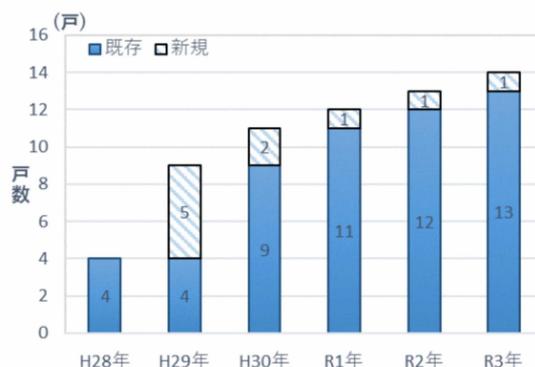
(1) 品質管理の取組

納得のいく商品を目指すため、キュアリング(※注1)の実施と冬期の保存条件を整え、品質調査により加工適期を見極めて加工を行っている。

※注1、サツマイモを高温多湿の状況下に一定期間置くことで、サツマイモの表面にコルク層が形成し、収穫時の傷から病原菌の侵入を防ぐことができ長期保存が可能となる。

(2) 加工技術の研ぎん

北海道立工業技術センターの支援を受け、干しいもの乾燥時間や温度試験を繰り返し、甘みが強くしっとり食感の概念が変わる干しいものを完成させた。新規営業許可を取得と乾燥機の導入を行い、栽培から加工まで手掛けたペーストと干しいもの生産販売を開始した。



(図1 栽培戸数の推移)



〈サツマイモペーストの製造〉



〈工業技術センターと干しいもの試作〉

4 活動の成果

○活動の広がり

サツマイモの生産や加工販売を通じて女性農業者や青年農業者の活躍の場が広がり、女性部と青年部が一体となって、サツマイモの特産化に向けた取組を進めている。

○女性部員による栽培から加工までの一貫生産

栽培技術の習得により、サツマイモの目標収量1.5~2ト/10畝を達成し、関係機関の

協力で販路を確保した上で加工品の販売を実現した。

令和3年は部員8名の30㎡の畑でおよそ7トンの収穫量があった。そのサツマイモは女性部の加工に使用するほか、直売所などで販売している。

○女性部と関係機関の連携活動

栽培や加工、販売の課題解決に向けて関係機関と共に検討を重ね、対応策を考えて実践してきたことが女性部の新事業につながった。

○加工品の販売と波及

商品化が進み、市内菓子製造業者へのペースト販売やコープさっぽろにて干しいも販売することが実現した。この結果、菓子製造業者は念願であった函館産サツマイモを原料とした菓子の通年販売を達成し、他の業者からサツマイモの需要が増加するなど、個別経営にも好影響を及ぼしている。

○組織活動や地域農業の活性化

女性部の新規加工事業は、若手が女性部事業への理解を深める機会になり加工に積極的に参加し、高齢の部員は新たな活躍の場となり、世代間交流が深まっている。令和3年度にはJA函館市亀田の農業振興計画書で6次産業化推進事業として商品開発の取組が位置づけられた。



〈女性部内の加工品販売の打合せ〉



〈完成した「函館育ち。ほっと、おいしいほしいも」〉

5 関係機関の支援

- ・ 函館市：函館ロゴマークの使用認証や加工品食味調査の協力
- ・ JA函館市亀田：事業計画策定や運営に対する支援、情報提供
- ・ 渡島農業改良普及センター：栽培技術の支援、販売力向上等の研修会の開催
- ・ 道総研農業研究本部道南農業試験場：栽培技術の情報提供
- ・ 北海道立工業技術センター：衛生管理や加工の技術支援
- ・ 北海道渡島総合振興局：販路拡大や商談会等の情報提供

6 今後の活動方向

- ・ 各世代がいきいきと取り組める女性部活動の活性化
- ・ サツマイモ加工品の生産数の増加
- ・ 女性による起業活動の推進

7 有識者による講評

女性部の加工活動において赤かぶ漬け、手作り味噌に続く第三の目玉特産品としてサ

ツマイモの加工品開発に積極的に取組み、「サツマイモペースト」、「干しいも」を完成させるなど、常に新たなことにチャレンジする姿勢が高く評価できる。

使用するサツマイモの栽培から加工までをJA青年部や地元の普及センター、農業試験場、工業技術センターと連携しながら女性部が一貫して行い、販売については渡島総合振興局等の支援を受けながら販路を確保するなど、さまざまな知見を自ら広げていることは特筆すべき。

活動においては、ベテラン部員の活躍の場であると同時に、若手部員の女性部への理解を深める機会につながっており、「楽しみ」、「学び」、「高める」といった女性部の根幹を体現する先進的な取組となっていることから、女性による起業活動のモデルとしても、さらなる活動の活性化が期待される。

優 秀 賞

氏 名	とうかいりん さちえ 東海林 幸恵	活動開始時期	平成24年 (2012年)
活動の種類	地域社会参画	年間活動回数	15回程度
市町村	札幌市		

1 活動の経過

株式会社ふるさとファームは、札幌市南区を拠点とし、新規に営農を始め、主に夏場はミニトマト、冬場は寒締めホウレンソウなど「札幌産」の野菜を栽培。現在は株式会社ふるさとファームの代表取締役を務めている。

設立当時から、子どもの農業体験に関心があり、農業を始めるからには、自身の畑に子どもたちが気軽に遊びに来られるような場所を作りたいと考え、「ふるさとファーム」という名前には「農場を訪れる人たちみんなの故郷となるように」といった思いが込められている。

そうした思いの中、ふるさとファームでは設立当初から商品にならない野菜を市内の養護施設に提供しており、施設の小学生を畑に招待したことがきっかけとなり、子ども向けの農作業体験や食育活動を始めた。

平成24年には子どもたちの農業体験を行うために「NPO 法人あぐりばる」を設立し、近所の農家や町内会、ボランティアの学生に声をかけ、協力をお願いしながら、羊ヶ丘養護施設の子どもたちに加えて、一般募集した小学生を対象とした農業体験プログラム「農業体験ばるきっず」を始めた。

「農業体験ばるきっず」は子どもたちが植えて育てた野菜とお米で、カレーライスを作る「カレーライス畑」といった実践型の食育プログラムであり、作ってから食べるまで・春から秋までの農作業を一通り体験してもらうことから自然の厳しさや食の大切さを感じてもらうことを目的としている。



〈東海林幸恵さん〉

2 活動の概要

- 平成24年から「農業体験ばるきっず」を開催し、小学生を対象として、1年を通じてカレーライス材料となる野菜や米を育てる農業体験を実施した。
- 平成28年から札幌市が主催する農体験リーダー制度に参加し、5年間札幌市立藤野小学校へ訪問し、小学1、2年生を対象に農作業指導を実施した。
- 平成28年から「ファーマーズ&キッズフェスタ（東京都、日比谷公園）」に参加し、子どもたちが収穫し脱穀し終えた稲わらを東京都に持っていき、その稲わらを使用して、東京の子ども達とクリスマスやお正月に飾るリース作成体験を行った。
- 平成29年には「子どもマルシェ」という子どもたちが栽培した野菜を自身

で販売する取組を実施した。

- 令和元年、令和3年には市立札幌みなみの杜高等支援学校や認定こども園札幌石山保育園を農場に招待し、ミニトマト収穫などの農作業体験を実施した。



〈ミニトマトの収穫体験〉



〈ファーマーズ&キッズフェスタでの工作体験〉

3 活動の成果

- 「農業体験ばるきっず」を複数年継続で参加する参加者もあり、栽培方法等を身につけ、栽培管理について試行錯誤するプロセスも経験することができるため、作業の流れを覚えた子が、周りの子にアドバイスをする様子なども見受けられ、子どもの自主性や協調性を育てるきっかけにもなっている。
- 小学校の食育の取組では、農作業指導の中で新型コロナウイルス感染予防の観点から、小学校に訪問できない状況下でトマトの栽培作業の様子を動画で撮影し、食育活動の参考資料として動画を送るなどの工夫をした。
- 「子どもマルシェ」では、子どもたちが農業の経済的側面を体験するとともに、札幌市の野菜を直接消費者に届けることで、札幌の農業の周知や活性化に貢献していると考えている。
- 「ファーマーズ&キッズフェスタ」では札幌の子どもから東京の子どもたちへと繋がりが感じられ、札幌だけではなく東京の子どもたちに対しても農業とふれあう体験を通じて、食育活動の重要性を広く伝えることにつながっている。
- 農業をリタイアした近隣の農業者が「農業体験ばるきっず」で農作業の手本を示すなどの中でふれあいが生まれ、普段子どもと直接関わりのない高齢の農業者の方からも「子どもたちと触れあうことで、農業に対するモチベーションが向上する」と好評を得ている。
- ふるさとファームで農業体験の開催、農体験リーダー制度を活用したことで、地域の小学校から直接、農作業指導などの食育活動について依頼が増加し、都市的地域である札幌市において、農作業を経験したことがない子どもたちに農業とふれあう機会を作り、食の大切さを伝えて場となっている。

4 関係機関の支援

- ・ 札幌市：農体験リーダー制度
- ・ 公益社団法人日本農業法人協会：ファーマーズキッズ&フェスタ

5 今後の活動方向

現在はコロナ禍の影響もあり、農業体験の受入れを一時中断しているが、状況が落ち

着き次第再開する予定である。農業体験を継続して実施し、子ども達が農業とふれあう機会を通じて食や自然に関心を持ってもらえるよう努めるとともに、食育に関する取組を沢山の方に知ってもらうことで、このような食育活動が増えることを願っている。

6 有識者による講評

平成23年に新規に営農を開始した翌年、子供たちが農業体験を行うためのNPO法人を設立するとともに、農業体験プログラムを開始し、札幌市内の子供たちが1年間の農業体験を通して食と農業の魅力を学ぶ活動を継続してきた点が評価できる。

東京都での「ファーマーズ&キッズフェスタ」への参加や「子どもマルシェ」など多彩な取組みを実践し、新型コロナウイルス感染拡大の影響の中でも活動を停滞させないよう農作業動画を作成するなど食育活動に積極的に取り組んでいる。

さらに、農業体験のほか、小学校の特別講師として活動し、経営者としても地域の高齢者や女性を雇用し、スタッフが働きやすい環境を積極的に整えるなど、幅広い世代の人材が活躍できる体制づくりを行っており、女性農業者のリーダーとして今後の活動も期待される。

令和3年度 女性・高齢者チャレンジ活動表彰事業実施要領

1 趣 旨

農業経営の改善や起業化、農村生活の充実、地域の振興などのために積極的に活動している女性農業者や高齢者のグループ又は個人等を表彰し、その活動成果を広く紹介することにより、地域における女性・高齢者活動の促進と農業・農村の発展に資するものとする。

2 主催及び後援

(1) 主 催

北海道

(2) 後援

北海道農業協同組合中央会

一般社団法人北海道農業会議

公益財団法人北海道農業公社

公益財団法人北海道農業改良普及協会

株式会社日本農業新聞北海道支所

3 参加者の資格及び対象とする活動内容

道内の農村で活動する女性、若しくは高齢者を中心としたグループ、又は個人とする。

なお、(4)の高齢者活動については、個人は65歳以上、グループは構成員の半数以上が高齢者(65歳以上)とする。

また、(5)の若手女性活動については、概ね45歳未満とし、グループは役員等に若手女性が含まれており、かつ、構成員に複数の女性が含まれているものとする。

(1) 起業活動

ア 地場農産物を活かした食品の加工・販売や直売、農家レストラン、ファームインなどの農業関連の生産・経済活動

(2) 経営参画

ア 女性が積極的に経営参画し、経験やアイデアを活かして経営の拡大や改善、労働環境の向上などに取り組む活動

イ その他、女性の経営参画や労働環境の向上に向けて取り組む諸活動

(3) 地域社会参画

ア 農業・農村が持つ資源を活かした都市・農村交流、食育・食文化形成、環境保全・美化、伝統文化の伝承などの地域振興活動

イ 女性による農業委員や農協役員、審議会委員等、地域の方針決定の場における活動

ウ その他、男女共同参画社会の実現や女性の地域社会参画に向けて取り組む諸活動

(4) 高齢者活動

ア 生涯現役を目指し、豊富な経験と技術を活かした農産物の生産・加工・直売など

の生産・経済活動や担い手等への支援、都市・農村交流、伝統文化の伝承などの地域振興活動

イ その他高齢者が中心となって取り組む諸活動

(5) 若手女性活動

ア 他産業で培った知識や経験を活かして取り組む起業や地域活動、担い手の支援、これまで女性が携わることの少ない、あるいはなかった経営技術の習得などによる積極的な経営参画・起業活動

イ その他起業、地域活性化に向けて取り組む諸活動

4 賞の種類

最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞若干数

5 募集及び審査方法

(1) 市町村、農業委員会、農業協同組合等は、活動内容のテーマに即し、優秀と認められる事例を別紙様式により総合振興局長又は振興局長に推薦する。

なお、推薦する際には、推薦書に農業改良普及センター所長又は支所長の意見を添付する。

(2) 過去に推薦のあった事例については、次のいずれにも該当する場合、再推薦を妨げないものとする。

ア 最優秀賞及び優秀賞を受賞していないこと。

イ 過去に推薦した部門と異なる部門での推薦であること、もしくは、過去に推薦した時点以降の実績を鑑みた場合に、再度推薦することが望ましいと判断されること。

(3) 総合振興局長・振興局長は、内容を確認のうえ、農政部長に推薦書を提出する。

(4) 農政部長は、事例の審査に当たり、審査会議を開催し、有識者等の意見を聞いた上で、賞を決定する。

なお、審査は、次の項目で行うこととし、審査要領は別に定める。

ア 活動の成果

(ア) 概ね3年以上継続している活動であること

(イ) 具体的な課題や目標をもって、積極的に活動していること

(ウ) 関心が高まるなど地域に活動の成果が現れていること

イ 自主性と創意工夫の状況

(ア) 活動が自主的に進められていること

(イ) 地域の特性を活かした創意工夫に富む活動であること

ウ 農業生産や地域活性化への貢献状況

(ア) 活動が農業生産や地域の活性化、農村生活の充実、男女共同参画のいずれかに貢献していること

(イ) 地域の女性農業者や高齢者のモデル、リーダー的な存在として認知・評価されていること

(ウ) 地域の関係機関や団体等とも連携し、効果的な活動を展開していること

エ 今後の発展

(ア) 活動が安定的に経過しており、今後もその活動が発展していく可能性があること

ただし、高齢者活動及び若手女性活動にあっては、その活動の継続や技術等の継承、新たな技術等の習得に向けた取組についても評価する

(イ) 活動の後継者を育成していること

ただし、若手女性活動にあっては後継者の育成を志している取組についても評価する

6 募集期限

令和3年（2021年）9月24日（金）

7 審査結果の発表

入賞事例は、12月上旬を目途に決定し、総合振興局・振興局において北海道知事賞状及び副賞を交付する。

なお、活動内容は、道のホームページ等に掲載するものとする。

8 全国表彰への推薦

入賞事例については、翌年度、全国段階の表彰事業等に推薦する。

令和3年度 女性・高齢者チャレンジ活動表彰」に係る審査会議名簿

1 有識者等

所 属	職 名	氏 名	備 考
札幌学院大学	法学部教授	おない じゅんこ 小内 純子	
北海道農業協同組合中央会	協同活動推進室長	ながなわ みちひろ 長縄 道弘	
(株)日本農業新聞北海道支所	次 長	おほら ひろこ 尾原 浩子	
(公社)北海道農業改良普及協会	編集部長	たけつ あきら 竹津 明	
(株)道銀地域総合研究所 地域戦略研究部	主任研究員	かきた いくこ 柿田 郁子	

これまでの受賞団体一覧

◇ 農村の暮らしと地域を活かす女性・高齢者グループ表彰

年度	10				11				12				13				14								
区分	支庁名 市町村名	団体名	設立 時期	構成 員数 (当時)	活動部門	支庁名 市町村名	団体名	設立 時期	構成 員数 (当時)	活動部門	支庁名 市町村名	団体名	設立 時期	構成 員数 (当時)	活動部門	支庁名 市町村名	団体名	設立 時期	構成 員数 (当時)	活動部門					
最優秀賞	十勝 足寄町	レストランメイプル	H5	7	起業化・食文化形成	宗谷 稚内市	夕市の会	S59	18	高齢者	網走 女満別町	開陽グリーンマーケット	H2	20	起業化・食文化形成	網走 紋別市	紋別簿記会	H3	42	農業経営の改善	上川 剣淵町	剣淵町特産研究グループ福有会	H6	9	起業化・食文化形成
優秀賞	渡島 八雲町	八雲漬物研究グループ	S62	16	起業化・食文化形成	石狩 千歳市	千歳市農業協同組合女性部食品研究部会	S57	28	起業化・食文化形成	渡島 木古内町	J A 木古内女性部直売活動グループ	H9	27	起業化・食文化形成	渡島 上磯町	六輪村	H9	12	起業化・食文化形成	網走 斜里町	つゆ草会	H3	64	起業化・食文化形成
	宗谷 歌登町	簿記サークル「たんぼほの会」	H4	32	主体性を発揮した農業担い手活動	渡島 上磯町	J A 上磯町フレッシュミセススマイル倶楽部	H55	26	起業化・食文化形成	空知 新十津川町	空知西部地区町づくり農村女性グループ連絡会	H元	220	広域的なネットワーク形成	空知 南幌町	なんぼろみどり会	S59	5	起業化・食文化形成	胆振 厚真町	手作りグループあすなる	H8	6	起業化・食文化形成
特別賞						上川 旭川市	旭川市農村女性ネットワーク「かがやき」	H8	522	広域的なネットワーク形成	宗谷 浜頓別町	浜頓別砂金野菜振興会	H2	12	高齢者	上川 富良野市	域・活きふらのネットワーク	H7	128	広域的なネットワーク形成	空知 由仁町	ゆにハーブの会	H7	101	農村地域の環境改善・都市との交流
奨励賞	石狩 新篠津村	J A 新しのつ女性部生活見直し研究グループ	S63	26	起業化・食文化形成	後志 蘭越町	蘭越町農業経営改善実践委員会	H4	21	農業経営の改善活動	後志 ニセコ町	ニセコボキボキクラブ	H4	7	農業経営の改善活動	後志 余市町	カムリ果夢里	H3	8	農業経営の改善活動	渡島 八雲町	ユーラップハーブの会	H8	17	農村地域の環境改善・都市との交流
	後志 共和町	J A 前田女性部食品加工グループ	S63	12	起業化・食文化形成	空知 滝川市	あゆみの会	H4	8	農業経営の改善活動	胆振 厚真町	つくしん簿	S63	12	農業経営の改善活動	根室 別海町	すもも倶楽部	H9	11	農業経営の改善活動	後志 京極町	J A ようてい女性部京極支部加工部会	H5	11	起業化・食文化形成
	空知 美瑛市	郷里の味なかむらえぶろん倶楽部	H10	25	起業化・食文化形成	檜山 乙部町	乙部町イチゴ加工部会	S60	6	起業化・食文化形成	石狩 厚田村	J A 北いしかり女性部厚田ブロック加工販売グループ	H2	26	起業化・食文化形成	石狩 江別市	江別ふれあいの里	H10	10	起業化・食文化形成	宗谷 豊富町	ポピークラブ	H8	8	起業化・食文化形成
	上川 当麻町	当麻町食生活研究会	S49	22	起業化・食文化形成	網走 清里町	花いちもんめ	H6	4	起業化・食文化形成	檜山 瀬棚町	カントリーマザークラブ	H5	7	起業化・食文化形成	檜山 熊石町	熊石町果菜栽培振興会	S55	10	起業化・食文化形成	釧路 鶴居村	J A 幌呂女性部チーズ部会	H11	10	起業化・食文化形成
	留萌 遠別町	J A 遠別女性部ドラィフワーサークル「彩」	H4	11	農村地域の生活改善運動	胆振 社管町	J A とうや湖女性部社管加工研究会	H6	5	起業化・食文化形成	上川 名寄市	カントリー・ママ・クラブ	H9	12	起業化・食文化形成	胆振 伊達市	レディースネット	H7	10	起業化・食文化形成					
	網走 端野町	えんじゆの会食研究グループ	H7	5	起業化・食文化形成	十勝 本別町	まめっこ倶楽部	H9	9	起業化・食文化形成	上川 士別市	上士別ふるーる(上士別をきざこう会)	H2	6	起業化・食文化形成	釧路 浜中町	HaNaKoの会	H11	9	起業化・食文化形成					
	釧路 鶴居村	J A 幌呂女性部簿記グループ「キャンディーズ」	H4	6	主体性を発揮した農業担い手活動	釧路 標茶町	標茶町1・5運動被服研究会	S62	19	起業化・食文化形成	留萌 小平町	小平町農産加工「うまい会」	H7	7	起業化・食文化形成										
	根室 別海町	上風連 すみれ会	H6	8	豊かな老後に備えた高齢者活動						日高 静内町	J A しずない女性部さくら押し花研究会	H4	25	起業化・食文化形成										
											十勝 帯広市	みのりの会	H6	4	起業化・食文化形成										
											釧路 音別町	乳製品加工研究会	H12	4	起業化・食文化形成										
											根室 標津町	標津町おいしんぼ倶楽部	H2	23	起業化・食文化形成										
											宗谷 浜頓別町	乳製品加工グループ「モルケライ」	H9	81	広域的なネットワーク形成活動										

年度	15					16					17					18					19					
	区分	支庁名 市町村名	団体名	設立 時期	構成 員数 (当時)	活動部門	支庁名 市町村名	団体名	設立 時期	構成 員数 (当時)	活動部門	支庁名 市町村名	団体名	設立 時期	構成 員数 (当時)	活動部門	支庁名 市町村名	団体名	設立 時期	構成 員数 (当時)	活動部門	支庁名 市町村名	団体名	設立 時期	構成 員数 (当時)	活動部門
最優秀賞	空知 岩見沢市	上志文ふれあいの郷	S57	18	起業化・食文化形成	空知 深川市	J Aきたそらち女性 部 多度志支部加工部会	H4	13	高齢者活動	空知 砂川市	美土里直売所	H9	5	起業化・食文化形成	渡島 北斗市	有限会社六輪村	H9	6	起業化・食文化形成	宗谷 豊富町	農村生活文化伝承活 動をすすめる会	H4	14	高齢者活動	
優秀賞	十勝 新得町	新得町パレットの会	H5	12	起業化・食文化形成	渡島 八雲町	NPO八雲ハンドメ イドの会	H4	18	起業化・食文化形成	上川 愛別町	愛別町農村女性グ ループネットワーク	H11	31	起業化・食文化形成	上川 名寄市	緑のめぐみ会	H11	5	高齢者活動	石狩 江別市	まるごと江別グルメ 会	H14	14	起業化・食文化形成	
	空知 幌加内町	そばっこ倶楽部	H11	10	起業化・食文化形成	上川 上富良野 町	旬ちゃん	H12	10	起業化・食文化形成	後志 余市町	余市町梅川こだわり グループ	H11	4	起業化・食文化形成	胆振 伊達市	伊達だいたず工房	H12	4	起業化・食文化形成	渡島 森町	森町トマト生産振興 協議会女性部	H15	5	起業化・食文化形成	
						十勝 足寄町	ふきのとう	H10	5	起業化・食文化形成						十勝 新得町	J A新得町女性部 「ポテトサークル」	S60	22	高齢者活動						
奨励賞	石狩 千歳市	グループ野菜&グ ループ旬	H11	20	起業化・食文化形成	檜山 今金町	農村女性の会	H15	16	起業化・食文化形成	渡島 知内町	わくわく工房	H14	32	起業化・食文化形成	石狩 石狩市	いしかり農産物加工 グループ連絡協議会	H14	76	農村地域の環 境改善・都市 との交流	檜山 せたな町	めんこい豆クラブ	H14	7	起業化・食文化形成	
	渡島 大野町	大野町 かりんの会	H7	17	農村地域の環 境改善・都市 との交流	後志 喜茂別町	喜茂別特産品加工グ ループ	H9	16	起業化・食文化形成	日高 静内町	J Aしずない女性部 もぎたて朝市会	H8	10	起業化・食文化形成	檜山 上ノ国 町	上ノ国たんぼぼ会	H1	7	高齢者活動	後志 蘭越町	Aコープらんこし店 もぎたて市部会	H15	18	起業化・食文化形成	
	檜山 奥尻町	奥尻野菜振興会	H13	8	高齢者活動	胆振 洞爺村	ポップマムの会	H11	20	農村地域の環 境改善・都市 との交流						後志 倶知安町	J Aようてい女性部 倶知安支部野菜作り グループ	H4	7	起業化・食文化形成						
	後志 黒松内 町	豆っ子クラブ	H7	5	起業化・食文化形成	日高 静内町	かんとりーママ	H8	5	起業化・食文化形成						留萌 羽幌町	愛々くらぶ	S61	8	高齢者活動						
	留萌 羽幌町	羽幌町農産物直売グ ループ「さわやか市 場」	H11	18	起業化・食文化形成	釧路 白糠町	紫陽花グループ	H14	6	起業化・食文化形成																
	網走 佐呂間町	あじな倶楽部	H6	4	起業化・食文化形成																					
	釧路 弟子屈町	J A摩周湖女性部加 工部会	H13	6	起業化・食文化形成																					

◇ 女性・高齢者チャレンジ活動表彰

年度	20					21					22					23					24					
区分	支庁名市町村名	団体又は個人名	設立時期	構成員数	活動部門	支庁名市町村名	団体又は個人名	設立時期	構成員数	活動部門	支庁名市町村名	団体又は個人名	設立時期	構成員数	活動部門	支庁名市町村名	団体又は個人名	設立時期	構成員数	活動部門	支庁名市町村名	団体又は個人名	設立時期	構成員数	活動部門	
最優秀賞	上川 美深町	伊藤 清	H15	個人	高齢者活動	渡島 北斗市	山本 宮子	H10	個人	起業活動	渡島 木古内町	秋山 良子	H10	個人	起業活動	留萌 遠別町	フレッシュ市場 花菜夢	H14	17	起業活動	上川 南富良野町	農産物直売所「作倶 楽」	H18	12	起業活動	
優秀賞	渡島 八雲町	柴田 節子	H2	個人	経営参画 起業活動	石狩 札幌市	A・Cネットワークグループ	H12	8	地域社会参 画	胆振 むかわ町	曙光会	S40	25	高齢者活動	空知 長沼町	未楽増加エグループ	H8	7	起業活動	空知 浦臼町	とどけよう倶楽部ゆ めや	H12	17	起業活動	
	上川 士別市	元気母さん！夕の市	H11	10	起業活動	十勝 士幌町	せわやき玉子	H18	6	地域社会参 画	十勝 広尾町	豊栄会	S63	10	地域社会参 画	上川 比布町	びっふ味菜	H10	3	高齢者活動	渡島 函館市	JA新はこだて女性 部函館支店女性部	S59	32	地域社会参 画	
奨励賞	石狩 千歳市	千歳市グリーン・ ツーリズム連絡協議 会	H17	38	起業活動	後志 余市町	JAよいち女性部	S44	43	起業活動	空知 北竜町	ふみの会	H4	12	高齢者活動	胆振 伊達市	ベジママ	H17	7	起業活動	空知 沼田町	農天氣の会	H13	6	地域社会参 画	
	檜山 江差町	新函館農業協同組合 女性部江差支部	S32	28	高齢者活動	空知 幌加内町	そば処「虹」	H14	8	高齢者活動	石狩 北広島市	住田 昇	S58	個人	高齢者活動	渡島 七飯町	新函館農業協同組合 七飯支店女性部	S30	38	起業活動	石狩 当別町	青山直売振興会古狸 庵	H3	3	高齢者活動	
	空知 秩父別町	ちっぶの里	H9	6	起業活動 高齢者活動	上川 東神楽町	東神楽まなび会	H元	8	起業活動	上川 旭川市	JA東旭川 兵村味工房	H15	13	起業活動	日高 日高管内	日高女性軽種馬ネッ トワーク「馬女ネット」	H21	48	経営参画・ 地域社会参画						
	十勝 中札内村	中札内村生活経営推 進グループ	S46	9	地域社会参 画																					
	網走 紋別市	ふれあい青空市場	H15	19	高齢者活動																					

年度	25					26					27					28					29				
区分	支庁名市町村名	団体又は個人名	設立時期	構成員数	活動部門	支庁名市町村名	団体又は個人名	設立時期	構成員数	活動部門	支庁名市町村名	団体又は個人名	設立時期	構成員数	活動部門	振興局名市町村名	団体又は個人名	活動開始時期	構成員数(当時)	活動部門	振興局名市町村名	団体又は個人名	活動開始時期	構成員数(当時)	活動部門
最優秀賞	空知 岩見沢市	小西 泰子	H元	個人	起業活動	空知 北竜町	村井 宣夫	H17	個人	高齢者活動	オホーツク 北見市	ところよめさん ねっとわーく・ さくらちゃん	H7	20	地域社会参 画	林-ツク 遠軽町	白滝じゃが生産部会 加工班	H14	8	地域社会参 画	空知 美唄市	合同会社なかわらえ ぶろん倶楽部	H10	8	起業活動
優秀賞	空知 深川市	昴(うづら)	H19	12	地域社会参 画	空知 沼田町	沼田とっておき 豆腐	H13	4	地域社会参 画	石狩 千歳市	ケータリング美利香	H17	7	地域社会参 画	空知 長沼町	マオイFood 研究会	H20	8	地域社会参 画	留萌 苫前町	モーモーみるく倶楽 部	H14	14	経営参画
	上川 士別市	上士別をきずこう会 トマト部会	S62	14	高齢者活動	オホーツク 小清水町	夢レストランの会	H15	11	高齢者活動	十勝 新得町	湯浅 優子	H8	個人	起業活動	留萌 遠別町	花の里	H9	5	高齢者活動	檜山 厚沢部 町	東谷 弥生	H14	個人	起業活動
奨励賞	渡島 八雲町	八雲町東野ほっぺの 会	H11	5	起業活動	石狩 当別町	当別町生活改善 実践グループ 連絡協議会	S49	36	地域社会参 画	空知 岩見沢市	菜宝箱	H17	14	起業活動	石狩 石狩市	おやふる工房	H22	9	高齢者活動	林-ツク 小清水 町	小清水町ルバーブ生 産グループ	H18	4	起業活動
	日高 浦河町	花植会(ハナウエル カム)	H14	11	地域社会参 画											檜山 上ノ国町	丸山 由美子	H21	個人	地域社会参 画					

年度	30					R1					2					3					4				
区分	支庁名 市町村名	団体又は個人名	設立 時期	構成 員数	活動部門	支庁名 市町村名	団体又は個人名	設立 時期	構成 員数	活動部門	支庁名 市町村名	団体又は個人名	設立 時期	構成 員数	活動部門	振興局名 市町村名	団体又は個人名	活動 開始 時期	構成 員数	活動部門	振興局名 市町村名	団体又は個人名	活動 開始 時期	構成 員数 (当時)	活動部門
最優秀賞	林-ツ 津別町	川瀬 保子	H20	個人	地域社会参 画	林-ツ 網走市	デイリーウーマンズ	H24	5	経営参画	十勝 広尾町	角倉 円佳	H19	個人	地域社会参 画	渡島 函館市	J A 函館市亀田女性 部	S36	55	経営参画					
優 秀 賞	日高 日高町	日高町農産物直売振 興会	H13	11	起業活動	檜山 今金町	川上 絹子	H24	個人	地域社会参 画	上川 名寄市	風連町2区簿記グ ループ	H1	7	経営参画	石狩 札幌市	東海林 幸恵	H24	個人	地域社会参 画					
	空知 秩父別町	かあちゃんの野菜畑	H13	3	地域社会参 画						オホーツク 佐呂間町	オホーツク楽農カ フェ	H26	22	経営参画										
奨 励 賞											釧路 標茶町	しべちや町農業女性 カレッジ	H29	5	経営参画										

令和3年度
女性・高齢者チャレンジ活動表彰事業事例集

令和4年(2022年)3月発行

発行 北海道

編集 北海道農政部生産振興局技術普及課

札幌市中央区北3条西6丁目

TEL011-231-4111 内線27-817

TEL011-204-5385 (直通)

FAX011-232-1091
